



2020年2月13日

各 位

会 社 名 J ト ラ ス ト 株 式 会 社
代表者の役職名 代表取締役社長 藤 澤 信 義
(コード番号 8 5 0 8)
(上場取引所 東京証券取引所 市場第2部)
問い合わせ先 取締役執行役員 常 陸 泰 司
電 話 番 号 0 3 - 4 3 3 0 - 9 1 0 0

当社子会社（株式会社KeyHolder）の個別業績の 前期実績値との差異に関するお知らせ

当社連結子会社である株式会社KeyHolder（証券コード4712：JASDAQ（以下「キーホルダー」といいます。））が本日公表いたしました2019年12月期通期決算における個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、当社の2019年12月期通期連結業績に与える影響につきましては、本日公表いたしました「2019年12月期決算短信」に織り込み済みであります。

記

1. 2019年12月期通期個別業績と前期実績値との差異（2019年4月1日～2019年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値（A）	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
2019年3月期	357	△496	△447	△353	△2.54
今回実績値（B）	287	△473	△467	△237	△1.54
増減額（B - A）	-	-	-	-	-
増減率（%）	-	-	-	-	-

（注）キーホルダーは、2019年12月期より決算期（事業年度の末日）を3月31日から12月31日に変更しております。この変更に伴い、2019年12月期は決算期変更の経過期間となることから9か月決算となっております。このため、増減額、増減率につきましては記載しておりません。

2. 差異の理由

売上につきましては、前述の通り通常の決算期間より3か月間短いことに加え、営業利益以降につきましては、ホールディングコストの計上のほか、連結子会社への貸付に関する引当を計上したことなどによるものであります。

なお、当期純利益が前期に比較して改善している理由といたしましては、固定資産の譲渡に伴う売却益146百万円を計上したことや、投資有価証券等の売却益129百万円を計上したことなどによるものであります。

以 上